

6 安心して暮らせるふくおかに～持続可能な社会にむけて～

■防災・災害復興・流域治水の推進

課題 近年、5年連続で豪雨に見舞われた福岡県。
室見川の浸水被害防止が急務。

前進! 河川整備基本方針策定に向け、国土交通省と協議し、取り組む



■ジェンダー平等の推進

前進! 市町村ごとのデータを出し、提供する取組
(県内市町村のジェンダーギャップの可視化)

■性犯罪防止と被害者支援策の強化

福岡県の性犯罪の人口10万人当たりの認知件数は2018年まで9年連続ワースト2位、2019年度はワースト5位に改善しました。福岡県警は性犯罪の根絶を3大重点目標の1つに掲げ、全国初「性暴力根絶条例」も策定されました。性暴力の根絶に尽力します。

実現! 児童・生徒への教育等を行う「性暴力対策アドバイザー」を県内全小中高校へ派遣

実現! 「性暴力被害者支援センター」に心理専門職を配置、プレイセラピールームを設置(全国初)

実現! 電車内で痴漢等に関する相談窓口を記載したポスターの掲示

■早良警察署の早期建替へ

早良警察署が分割。早良区のみ管轄に。それぞれの地域の実情に即した各種治安対策をより効果的に進めます。機能強化、環境改善のため県内で2番目に古い早良警察署の早期の建て替えも要望しています。

■交通安全対策

- ・藤崎駅前周辺の信号機
- ・南庄「室見団地東口」信号機
- ・「西新2丁目」交差点の右折禁止の解除 など

■地域格差の解消、地域・文化を守る

福岡県では、福岡市近郊とその他の地域、早良区でも南北間で人口減など地域格差が拡大しています。公共交通(バス等)の乗り入れの廃止など、地域の足もなくなり、格差を助長しています。

■地球温暖化・気候変動対策

福岡は100年で2.44℃の割合で平均気温が上昇。カーボンニュートラルな社会の実現、農業、森林・林業を守ります。

■ワンヘルスの推進

後藤香織は、ワンヘルス・地方分権調査特別委員会の副委員長を務めています。

人獣共通感染症である新型コロナウイルス感染症の流行により、人と動物の健康と環境の健全性を一体的に考える「ワンヘルス」の重要性が増しました。更なる推進に向けて取り組みます。

コロナ対策

県民の命と暮らしを守るための体制づくりに県議会で取り組みました。多くの悩みに寄り添い、支援策や行政につなぎました。



知事へコロナ対策の要望書提出



コロナ号外チラシ

後藤香織

プロフィール

福岡県議会 民主県政クラブ県議団 所属

- ワンヘルス・地方分権調査特別委員会 副委員長
- 県民生活商工委員会 委員
- 福岡県文化議員連盟 幹事
- オイスカ国際活動促進福岡県議員連盟 理事
- ふくおか県民文化祭実行委員
- ・福岡県日中友好協会 副理事長
- ・西区野球連盟 顧問
- ・原北小学校PTA役員
- ・福岡県女性議員ネットワーク 役員

〔取得資格〕育休後アドバイザー、進路アドバイザー など
〔趣味〕カラオケ、ヨガ、史跡めぐり(城郭など)



ホームページ

www.gotokaori.com



@gotokaori.sawara



@gotokaori.official



友だち追加

ごとうかおり県政事務所

〒814-0022 福岡市早良区原3丁目17-38

五十三萬石ビル 2F

TEL 092-832-6807 FAX 092-832-6808

E-mail rikken.gotokaori@gmail.com

立憲民主党

福岡県議会 民主県政クラブ県議団
会派控室

〒812-8574 福岡市博多区東公園7-7県議会内
TEL 092-643-3804 FAX 092-622-6203

福岡県議会議員〔早良区〕

ママチャリ奮闘記
No.15 2022年12月号

後藤香織 3児の母 43歳

ごとうかおり

福岡市で **最年少・女性県議** として、2019年4月から市民・県民のことを第一に考え、一生懸命働き、多くの政策を実現しました。暑い夏も寒い冬も、早良区内の駅などでの街頭活動、地域での県政報告会を実施してきました。コロナ禍という制限がある中、地域の皆さんと交流し、地道な活動を続けてきました。

これからも、**信念と情熱で福岡を動かします。**

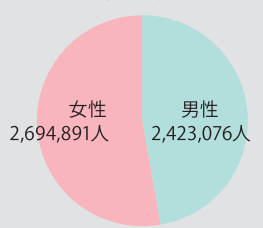
ごとうかおりが 県政に新風を吹き込んだ4年間

1 子育て世代・女性の声を届ける!~子育て環境の整備と女性特有の課題解決~

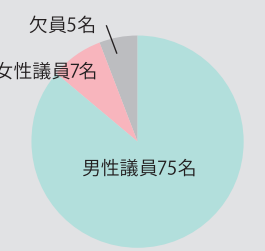
課題 1割にも満たない福岡県議会の女性議員

福岡県は人口の半分以上が女性であるにも関わらず、福岡県議会は定数87名中、現在女性議員はわずか7名。小学生以下の子どもを持つ議員も少なく、女性議員では後藤香織だけです。これまで声が届かなかった、子育て世代、女性の声を私が届けます!

〔福岡県総人口〕5,117,967人
〔福岡県の人口と世帯(推計)より
2022年10月1日現在〕



〔福岡県議会議員〕定数87名
(2022年11月現在)



■妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援体制の充実

産後苦しんだ当事者として、同じ境遇の母親たちを助けたい。産後ケア、不妊、子育て、待機児童…すべての子育て家庭への支援をめざします

実現! 「福岡県不育症検査費・治療費助成事業」による不育症への支援開始

実現! 産後ケアが必要な方が支援を受けられる体制を福岡県内に地域格差なく構築

■保育環境の整備・保育士の処遇改善

前進! 待機児童をゼロに

2019年
1,232人

2020年
1,189人

2021年
625人

2022年
100人

前進! 保育士の処遇改善

- ・処遇改善加算2020年に賃金UPに反映されなかった68園全てで2021年には賃金UPに反映
- ・保育士・幼稚園教諭 月額9,000円の処遇改善

実現! 保育の職場環境改善に向けた実態調査を実施

実現! 潜在保育士の復職支援

2020年度は77名、2021年度は58名が保育士として新たに就職

前進! 放課後児童クラブ(学童保育・留守家庭子ども会)の保育の質の向上

■若年女性・困難な状況にある女性への支援

課題 10年で7倍、大幅増の「特定妊婦」

特定妊婦とは…妊娠中から家庭環境におけるハイリスク要因を特定できる妊婦であり、具体的には、不安定な就労等収入基盤が安定しないことや家族構成が複雑、親の知的・精神的障害などで育児困難が予測される場合などがある、とされており、未成年や予期しない妊娠をした妊婦なども含まれる。

実現! 特定妊婦が産前～産後に相談・自立支援を受けることができる専門的施設が開設

県 田川郡福智町

産前産後母子ステーション MamaRizumu(ママリズム)

県 三井郡大刀洗町 福岡にんしん110番 Link(リンク)

市 福岡市早良区

産前・産後母子支援センター Comomotie(こももティエ)

■女性特有の疾病対策

日本では、約38万人ががんで亡くなり、年間約100万人のがんと診断。その確率は男性65.5%、女性51.2%。20代から50代中ごろまでの若い年代に限って言えば、女性のほうが高く、特に20歳～39歳までのがん患者は約8割が女性で、女性のがん患者が非常に多い。

前進! 子宮頸がん・乳がんの検診受診率が上昇

実現! 「小児・AYA世代(15歳～39歳)がん患者等妊孕性温存治療費助成事業」がスタート

実現! ウィッグなど治療に伴う外見の変化を補完・ケアするウィッグなど治療に伴う外見の変化を補完・ケアする

前進! 「福岡県アピランスケア推進事業」がスタート

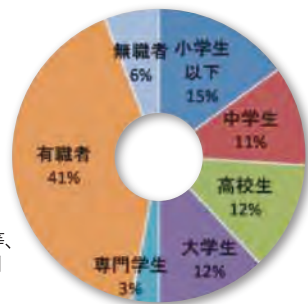
更年期障害への理解・周知の促進

2 すべての子どもたちに豊かな教育を ～チルドレン・ファースト～

■子どもたちの命と生活を守る取組の強化に取り組みます

課題 登下校を狙った子どもへの性犯罪

福岡県内の性犯罪被害の近年の学識別の現状をみると、2番目に小学生以下の被害が多く、その被害の時間帯は15～17時台の登下校の時間帯に集中しています。



令和元年度性犯罪（強制性交等、強制わいせつ）被害者 学識別
(出典：福岡県性暴力対策検討会議)

課題 福岡県内の危険な通学路2,371か所！ 福岡市269か所・早良区40か所（全国一斉調査）

通学路の安全確保対策に引き続き取り組みます。

■国際セクシャリティ教育ガイダンスに基づく

包括的性教育に向けた取組

課題 福岡県10代の人工妊娠中絶率が2010年から 9年連続ワースト1位

前進！ 県立高校の性教育の考え方を示す「性に関する指導資料」が17年ぶりに改訂



3 県政を身近に・県議会改革

地盤・看板のない後藤香織だからこそ県民に近い、信頼される政治をめざします。
県民の納得感を重視し、県政に庶民感覚を取り入れ、議会の多様化を推進します。

■クリーンな政治の実現

実現！ 資金収支報告書のインターネット公開

■若者の政治参加の促進

4年間で大学生インターン16名を受け入れました

■公平な政治参加の機会・議会の多様化を推進

前進！ 子育て世代の立候補への障壁の解消

実現！ 「政治分野における男女共同参画セミナー」を実施 「福岡県における議会関係ハラスメントを根絶するための条例」が制定

実現！ 議会棟女子トイレの増設

実現！ 福岡県議会で初の赤ちゃん連れ傍聴 ⇒ベビーカー対応の通路、親子傍聴室2024年設置予定！



福岡県議会で初の赤ちゃん連れ傍聴

■教員不足・多忙化を解消

課題 必要な教員が足りず、未配置の学校が増加。

小学校	63校（14.4%）	66人	臨時免許状で対応	306人
中学校	37校（18.5%）	56人		66人

未配置の改善、多忙化の解消に取り組みます。

■ICT環境の整備

実現！ 県内全ての県立学校に1人1台端末を配備

■豊かな学校給食を提供

オーガニック給食・地産地消を推進します。

■大学等、高等教育機関の教育環境整備

実現！ 新規学卒者等 就職後の若者のフォローアップ事業の実施（3年以内の離職率3割対策）

教育費・奨学金返済の負担軽減にも取り組みます。

■不登校・いじめ対策

課題 小中学生の不登校児童生徒が年々増加傾向。

2017年度	5,476人
2018年度	7,215人
2019年度	8,595人

福岡県の1,000人あたりの不登校児童生徒の数は21.2人と全国の18.8人を上回る。

実現！ 「福岡県不登校児童生徒支援グランドデザイン」を策定 フリースクール等の民間機関との連携構築を図る

■児童生徒の人権を守るための校則の見直し

実現！ 県立高校・校則の見直しについて毎年調査を実施

下着の色指定あり	2021年31校	→	2022年度22校
ツープロック禁止	43校	→	21校

前進！ 早良特別支援学校（仮称）と早良高校とのインクルーシブ教育の推進

■議員活動の見える化

後藤香織は、SNSや街頭活動、県政報告会など公開・発信しています

一般質問を毎議会実施しています

質問数

福岡県議会で

No.1！

新聞掲載実績

4年間で

12回！

4 支えあう社会を実現する福祉施策の充実

●子ども

■負の連鎖を断ち切る

子どもの貧困対策の強化・教育格差の是正

前進！ 養育費確保の支援の実施

「公正証書等作成支援事業」「保証契約締結支援事業」

■児童虐待防止策の強化

課題 児童虐待相談対応件数は、2020年度10,272件と初めて1万件を超え、増加の一途。

3年間で8名の児童が虐待により死亡。

実現！ 「福岡県子どもへの虐待を防止し権利を擁護する条例」の制定

実現！ 児童相談所の児童福祉司 2019年78名⇒2021年113名 警察官、学習指導員の増員

実現！ 県内全ての児童相談所に養育里親をあっせん・支援する フォostリング機関が設置

●現役世代

少子高齢化、就職氷河期など多くの課題を抱えたまま、社会を支える現役世代。

世代間格差の是正、自己責任で終わらせない、手の届く支援に取り組みます。

■ひきこもり等の自立支援

課題 40歳から64歳までのひきこもりは、 推計61万人（2019年内閣府調査）

ひきこもり期間は7年以上が半数を超え、30年以上が6.4%
80代の親が、50代のひきこもりの子どもの生活を支える「8050問題」が顕在化。

当事者・ご家族のニーズに沿った自立支援に取り組みます。

前進！ 県内のひきこもりの実態把握のための調査を実施

●介護

課題 2040年問題：少子化による急速な人口減少と団塊ジュニア世代が65歳以上になることにより、高齢者人口が最大となり、世代間の不均衡が著しくなることにより起こる危機。

	要介護認定者数	要介護認定率
2020年	約27万人	19.1%
2040年	約38万人	24.7%

75歳以上の高齢者や、認知症高齢者、高齢者単身世帯、高齢者夫婦世帯の増加が予想されており、介護給付費は、一層増加することが見込まれる。

40歳から64歳までの第2号被保険者が減少していく中で、介護保険料もサービス費も値上がりしていき、負担がますます増え、介護人材も若い世代の減少と要介護者の増加により不足すると見込まれており、深刻な課題です。

■増加する医療・介護ニーズに質の高いサービスを

前進！ 福岡県は、高齢者の自立支援・重度化防止のための「保険者機能強化推進交付金」に係る評価結果が全国ワースト1であることを指摘⇒関係課で対策チームを編成し、指標ごとに対策の検討を行い、市町村へのきめ細かな支援ができるよう早期に改善に取り組む

前進！ 認知症施策の地域間格差の解消

実現！ 「認知症の人と家族の一体的支援事業」の開始



5 人間の尊厳が守られる暮らし・働き方のために ～労働者・生活者目線の福岡県政～

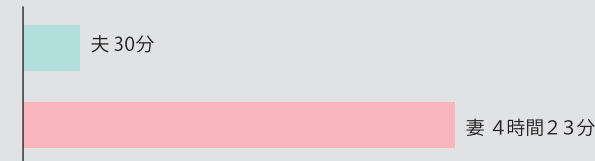
後藤香織は、ワーキングマザーとして、17年間会社員をしながら3人の子育てとの両立に励みました。当事者だからこそ、労働者・生活者の悩み・想いに寄り添います。
就職氷河期世代対策や若者、非正規雇用者の労働条件改善、育休中・復帰後のキャリアプランニング制度の充実、起業・創業支援、社会起業家の育成支援にも取り組みます。

■ワークライフバランス、ダイバーシティの推進

課題 福岡県は共働き夫婦が家事・育児に費やす時間の夫婦間格差が全国ワースト1位！

女性の家事・育児等のケア責任に対する負担の重さが懸念されます。男女ともに充実した子育て・仕事ができる環境を整え、男性の育児休業の取得促進などを進めます。

【福岡県・共働き夫婦が家事・育児に費やす時間】



パートナーシップ宣誓制度



ウクライナから避難してきた方々と

■障がいのある方や外国人、性的少数者などの人権を守る共生社会の実現

前進！ 専修学校・各種学校における留学生への適正な在籍管理の推進

実現！ 人権侵害事案のあった日本語学校（各種学校）への県の責任を厳しく追及⇒実地調査を実施

実現！ 福岡県パートナーシップ宣誓制度の創設・2023年から佐賀県とも連携！

前進！ 部落差別の撤廃に向けた取り組み強化